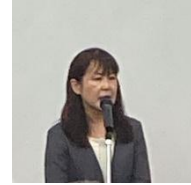


## 令和6年度地域情報化講演会開催

10月16日松江市サンラポーむらくもにおいて島根県情報産業協会令和6年度地域情報化講演会を開催しました。講演会は、井上浩島根県情報産業協会代表理事会長の挨拶に続き、中国経済産業局地域経済部次長阿比留彩子氏に来賓祝辞を頂きました。阿比留次長は、挨拶のなかで、生成AIの急速な進展のなかで、地域のDX化が遅れることがないよう国は施策を進めていること、地域のIT企業におかれても地域産業のデジタル化DXに力添えをお願いしたいと話をされました。



講師には、トヨタ自動車株式会社デジタル変革推進室CXセンター担当部長佐々木英彦氏をお招きし、「CXを中核にしたモビリティカンパニーへの取組」と題して、講演をしていただきました。佐々木氏は講演で、トヨタ自動車は2018年総合的なモビリティカンパニーを目指すことを宣言し、その実現のため、デジタル変革推進室は、CX（カスタマーエクスペリエンス、顧客接点）の視点から、社長直轄組織としてデジタルを活用して活動していること。メーカーは顧客接点が限られていたが、インターネットが普及するなかで、様々な接点ができるようになり、統一化が必要になり、デジタルマーケティングプラットフォームを作った。その際システムの統一の前に共通の物差しを作ることにした。それがN係数（NetPromoterScore）であり、そのことにより、会社の強み、弱みが分かるようになり、全社的な取組として広がってきたと述べられました。

また、モビリティカンパニーを目指すうえで、DXは不可欠で、デジタルを活用し、例えば移動だけではなく、周辺情報を含めた提供など、新たな情報を付加できる仕組みを考えていると話をされました。

顧客重視と簡単に一口には言えないトヨタ自動車のモビリティサービスの核心部分を披露いただいた講演でした。



講演後は、交流会を開催し、福光靖代表理事副会長の開宴挨拶の後、松江市桑垣産業経済部長挨拶、そして、井上浩代表理事会長乾杯の音頭で和やかで交流会が始まり、恒例となった「ダァー」で締めとなりました。